

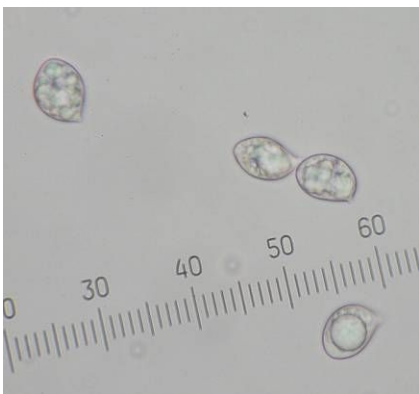
No. 0028

ヒマラヤツエタケ？

Xerula chiangmaiae R. H. Petersen & Nagas. var. *raphanipes* (Berk.) R. H. Petersen & Nagas. ?



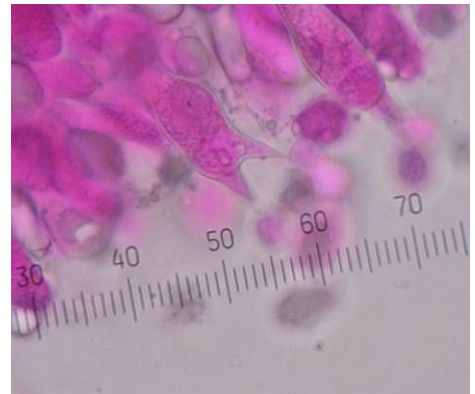




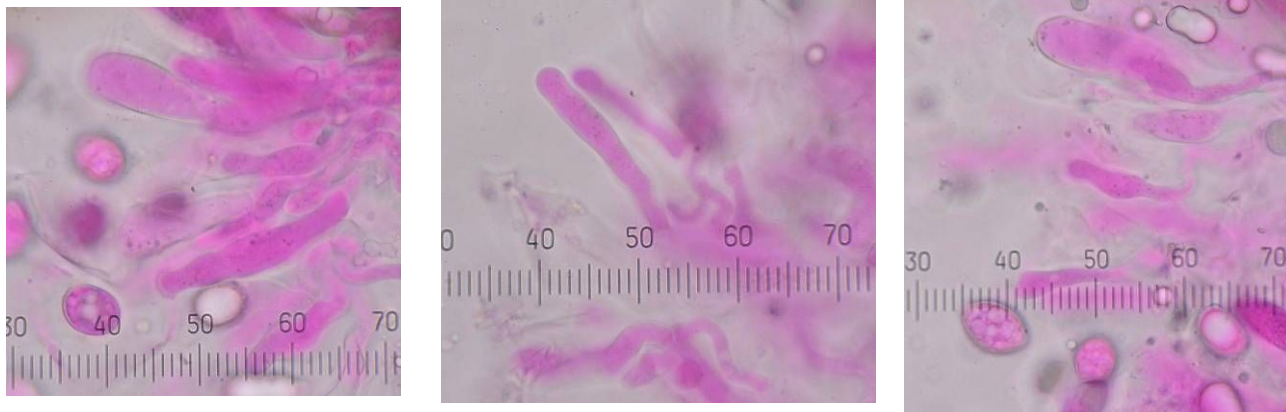
孢子



担子器



担子器



縁シスチジア

●2 個体採取

●傘は径 8.5cm, 中高の平ら, 縁はやや波打つ; 表面は湿時粘性があり, 淡褐色～淡灰褐色～暗濃ベージュ色, 中心付近は縦長の網目や窪みがあり, 縁付近は円形の網目や楕円形の網目がある。

●柄は 14×8cm (基部は採集時に途中で切れている), やや便腹状, 中心性, 中実～中空 (虫くいのせい?); 表面は暗褐色, 上部は細かい鱗片状となり色は淡く, 中部はややだんだら模様, 基部は白色となる。

●ヒダは疎, 上生～離生, 幅 0.8cm, 白色～帯クリーム色, 全縁。

●肉は厚さ 0.4cm, 傘部で白色, 柄部で白色～帯茶色, 変色性はなく, 質は脆く, 特別な匂いや味はない。

●胞子は類球形～広楕円形, 大きさ 14-19×10-16 μ m (7個測定), Q 比 1.1-1.4, 非アミロイド, 胞子内部は内容物がある。

採集日 2009年6月21日

採集場所 神戸市中央区

採集環境 シイ・カシ林地上

採集者 幸徳伸也

同定者 幸徳伸也

標本番号 なし